

心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	銚子市立第三中学校	
ア 全校児童生徒数	49名	(令和4年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	① 全校生徒49名 ② 1年生13名、2年生8名	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	① パラスポーツを通して、障がい者への理解を深める活動 4月：オリパラをテーマにした新聞の掲示 7月：『I'm POSSIBLE』教材を活用した授業実践 9月：保健体育の授業におけるボッチャ体験 10月：地域住民、保護者、職員とボッチャ体験会 12月：『あすチャレ！スクール』で講演とパラスポーツ体験 ② 福祉教室の実施を通して、高齢者への理解を深める活動 1月：『認知症サポーター養成講座』の開催	
エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)	① ・ボッチャ体験会を実施し、地域住民や保護者、近隣学校職員へパラスポーツの普及を行った。 ・学校WEBページや学校だより、学年だよりにて体験会や『あすチャレ！スクール』の様子を掲載した。 ・学校から地域への広報誌に活動の様子を掲載した。 ・オリパラ新聞を体育館入口に掲示し、社会体育で来校する方々が見られるようにした。 ② ・講座の様子を学校WEBページや学校だより、学年だよりに掲載する予定。	
オ 実践成果 (児童生徒の変化など)	① ・ボッチャ体験を行うことで、年齢や性別、体力、体格など関係なく楽しめる競技であることを実感し、パラスポーツへの理解を深めることができた。 ・ボッチャでは、チームで話し合いながら次の一投を決めるため、自然と全員がコミュニケーションをとることができるようになった。 ・『あすチャレ！スクール』では、パラリンピアンから実際に話を聞くことができた。あきらめないことや挑戦することの大切さを理解し、大きな目標を立てられるようになった。 ・実際に車いすに乗ったりすることで、障がい者への理解が深まった。 ② ・今後実践予定であるが、高齢者への理解を深められることが望まれる。	
カ 次年度の予定 (課題や改善策など)	① ・ボッチャでの交流を広めていく。校内においては、全校生徒、教職員と行う。校外においては、近隣の小学校との交流や地域住民や保護者との交流を、さらに広げる。 ・今年度とは違ったパラスポーツ体験を実施する。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で中止していた、地域と連携したスポーツ交流会を実施する。 ②・引き続き福祉教室を実施していく。 ・コロナ禍で中止していた地域と連携したクリーン作戦を実施する。
<p>キ 添 付 資 料 (広報資料・Web 記事など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①・学校WEBページ（11月7日、12月21日更新） ・学年だより（2学年に12月23日発行、3学年に10月28日発行、1学年に12月23日発行） ・地域広報誌（地域に12月14日発行） ・オリパラ新聞（4月～校内掲示） ②・学校WEBページ（1月更新予定）

※A4サイズ2ページ以内に調整すること。